

和泉地区 保護司会会報

発行所 和泉地区保護司会
責任者 堀田 徳雄
〒594-0071 和泉市府中町4-20-4
和泉市立総合福祉会館内
TEL 0725-43-7513



当日は午前十一時三〇分に保護司集合で大会準備をすすめました。開演時には町会関係者九十四名・一般二十四名を含む総数二百十一名の参加者のもと講演会を開催する事ができました。今年はお忙しい中、和泉学園兼平優園長による日頃余り知る事が出来ない少年院の矯正教育・在院者の社会復帰支援等の講演をパワーポイントによるスライドを映しながらすすめて頂きました。

講演の中で今年六月一日から刑務所に拘禁刑

が創設されたとの事で近年は受刑者の背景も考え人権を尊重し寄り添いながら一人一人に沿った改善更生の大切さが重要視される時代になってきたとの事です。特に未成年の場合はまだ精神が不安定な場合も多いので周りの大人が積極的に話を聞くなどして関わりを持ち信頼関係を築く事により犯罪に陥らない・戻さない立ち直りをみんなで支える明るい社会を目指して地域と連携して支援を受けながら少年の立ち直りが出来れば良いと思いました。



第75回「社会を明るくする運動」和泉地区推進大会 七月五日(土) 和泉学園 園長 泉南学寮 兼平 優氏講演「和泉学園の教育について」少年の立ち直りに向けて

を聴いて



色んな視点から話を聴かせていただきとても有意義な講演でした。(西ブロック 辻勝夫)



退任保護司

西ブロック 古下 義隆

三つの「お陰様」

ある日、元対象者のお母さんが来られ、「お陰様で娘が結婚することになりました」と言いつつ深々と頭を下げられました。同じ日に、元対象者のお父さんが、「お陰様で息子は立派な一家の柱になりました」と私の手をしっかりと握ってこられました。さらにその日の午後、元対象者本人が店に来て、「お陰様で今、奈良で働いています」と楽しそうに職場の写真を見せてくれました。

同じ日に三人の方から「お陰様」の言葉を頂きました。「三十二年間、保護司を続けてきて、よかったなあ」と心底思う毎日です。

和泉地区会長・堺支部管内の会長の会長 大阪府保護司会連合会の副会長の任務が遂行できたのも、和泉地区の保護司の皆様のご協力のお陰です。感謝＆大感謝です。

その気持ちを俳句に託しご挨拶とします。

夕焼けて保護司退任迎へけり
俳句雑誌「鷹」掲載

令和七年五月二四日
平成五年五月二五日

退任
委嘱

北ブロック 辻尾 脩

大阪市役所退職後地域の人の推薦があり保護司の職を法務大臣から委嘱され、早いものでもう退任の日を迎えることとなりました。

担当した人達にもめぐまれ、その任務を全うすることができました。

保護司仲間からいろいろな苦労話を聞いていますが、私の場合環境調整に始まり月二回の面接にもご家族及びご本人にご協力をしてもらい、スムーズにその任を全うすることができました。中には国家資格を取り更生への道をあゆんでくれている人もいます。その努力に敬服し、将来に幸多かれと願っています。

保護司をさせてもらった中で心に残っているのは、天王寺高等学校の同窓である古下前和泉地区保護司会会長にお会いでき、ご指導をうけたこと、和泉地区保護司会の理事をさせてもらったとき保護司会仲間、BBS会のメンバーと榎尾山ヘクリン登山に行ったことです。また北ブロックの仲間と北信太駅前等へ啓発活動に行ったことも楽しい思い出となっています。

保護司を退任することが決まった今、それらが走馬灯のように懐かしく浮かんできます。

これまでお世話になった方々に感謝の言葉を述べて、筆を置かせてもらいます。

令和七年五月二四日
平成二三年五月二五日

退任
委嘱

保護司の声

「おおきにやで」

母は九十二歳でこの世を去った。九十歳になるまで畑仕事に精を出し、身の回りのことは全部自分でこなしていたのだが、日を追うごとにできないことが多くなってきた。ある日には、物干し竿に手が届かなくなると言い、次の日にはペットボトルの栓を開けることができなくなると言う。病院通いの際、車の乗り降りがむずかしくなり、そしてわずか三百mしか離れていない畑へ歩いて行くことができなくなった。

私は、母へのサポートを初めは自然な気持ちでしていたが、半年が経ち一年を過ぎると正直煩わしく感じるようになってきた。寄り添わねばと心では思いつつ、時にはきびしく接することもあった。そんな私に、母はこう言った。「忙しいのに毎日ようやってくれるな。おおきにやで」

母に感謝してもらおうなど一度も思ったことはないが、そう言われて随分と気持ちが軽くなったのを覚えている。ほんとうはもつとサポートをしてほしかったであろうに。

今思うと、寄り添わねばと頑張っていた私が、実は寄り添ってもらっていたのである。あらためて母の優しさを知り、同時に寄り添うことの意味を教えられた。

(東ブロック 生田 晴良)

行事予定

★第二期定例研修会及び連絡会
八月二六日(火)

和泉市コミュニティセンター
テーマ「更生保護における新規施策について」

★大阪更生保護大会
十月三〇日(木)

南海波切ホール

★管外研修会
十一月一八日(火)

★第三期定例研修会及び連絡会
十一月二五日(火)

和泉市コミュニティセンター
テーマ「事例検討」

★新年互礼会並びに退任保護司謝恩会
二〇二六年一月

★第四期定例研修会及び連絡会
二〇二六年三月二五日(水)

和泉市コミュニティセンター

計報

平成六年九月二五日に委嘱された横山捷也名誉会員が、令和七年三月三日に逝去されました。

平成十年一月二五日に委嘱された藤田登名誉会員が、令和七年四月に逝去されました。

生前のご功績を偲び、ここに謹んでご冥福をお祈りします。

令和七年度 年輪大学講座
平成23年6月に法務大臣からの委嘱状を戴き、現在で15年目。本年度は、和泉市社会福祉協議会事業の一環である「年輪大学」の講座において、令和7年6月18日（水）13時30分から45分間講師として依頼を受け、「保護司と更生保護」についてお話しさせて頂きました。参加者には、「聞き上手になつて戴きたい」事をお願いしスタートしました。

さて、私の場合は、教職生活38年間で実践した事をベースにし、保護司として活動している事をお伝えし、特に保護司としてのやることは、「更生させる」、「すなわち漢字一文字にする」と「甦らせる」事が責務である事を伝えました。また、犯罪者や非行少年を社会の中で受け入れ、安全・安心な地域社会をつくる事を旨とする更生保護活動があり、その柱として保護観察（1号観察から4号観察）と生活環境調整（自分が担任した卒業生との面会で涙の対面の話等）について説明しました。そして対象者に接するときは、「思いやり」でなく「思い合い」をベースにし、上から目線で無く、同一目線で寄り添った指導を行い、対象者には、「常に目標を持つ事」、「約束を守る事」、「守秘義務」、「一緒に頑張りましょう」等を伝え、一人につき月2回の面接を実施し、人権教育を中心に保護司活動している事を伝えた。

解除通告時には、「約束を守ってくれた事」、「よく頑張った事」、「今度はこんな形で会わない様にしよう!」等、「何処かであったら挨拶を交わしましょう」等を対象者・引受人に伝え終了。

活動紹介

・地域役員の方々に更生保護や保護司の仕事について理解と関心を持っていただく。
・七月はすべての国民が犯罪や非行を防止し立ち直りについて理解を深めそれぞれの立場において力を合わせ明るい社会を築く全国的な運動の実



年輪大学

また、和泉市では犯罪予防活動として、和泉地区保護司会が中心となり、「街頭啓発」、「第75回社会を明るくする運動推進大会」、「小中学校児童生徒の理解を深めるための作文コンテスト応募」についての協力依頼をした。そして更生保護活動として、「更生保護女性会」、「BBS会」、「協力雇用主」、「更生保護施設」、「更生保護サポートセンター」等がある事を説明。最後に、ある少年院での掲示物を紹介。過去と他人は変えることが出来ないが、自分と未来はいくらでも変えることが出来る」を伝え終了した。

(東ブロック 金谷 忠男)

社明運動南松尾はつが野校区研修会

実施目的

- 1 実施目的
・地域役員の方々に更生保護や保護司の仕事について理解と関心を持っていただく。
・七月はすべての国民が犯罪や非行を防止し立ち直りについて理解を深めそれぞれの立場において力を合わせ明るい社会を築く全国的な運動の実
- 2 実施日 令和7年7月19日（土）
3 実施場所 南松尾老人集会所
4 実施団体 和泉地区保護司会（辻貞、松葉、辻和、松山、岡）
5 参加者 各町会長、自治会長 校区長（寺田）久井町（長谷）春木町（松山宏）松尾寺町（松本、川西）若樫町（辻）春木川町（木村）はつが野4丁目A（錦織）4丁目B（北本）5丁目（山田）6丁目（岡本）10名
6 具体的な内容
○大会お礼と社明の説明（松葉）
○BBS活動について（馬殿）
○保護司の活動、選出（辻貞）
○それぞれが思う地域の実態（松山、岡、辻和）
7 成果
自主的意欲的に参加してくれた若い層に参加者が広がった
小人数研修の良さ
(南ブロック 松山 武司)
- 「薬物乱用防止教室」を実施
去る7月16日（水）和泉中学校にて、中学2年生281名の8クラスを対象に体育館にて「薬物乱用防止教室」を実施しました。
原田校長先生より夏休み前に実施してほしいとの依頼があり、当日の3限目に行い、学校側には土居先生を中心に、各クラスの先生方の協力を得まして実施することができ、最後に生徒の皆さんから、お礼の言葉をいただきました。
(中ブロック 北口 吉輝)

企画調整保護司駐在シフト 令和7年4月					
曜日	月	火	水	木	金
	金谷直子	山村武子	西本親徳	堀田徳雄	金谷忠男
担当	齊藤泰子	辻本孝子	松山武司	辻貞治郎	平松潤治
	一日(午前)	一日(午後)			
開所:月曜～金曜のAM10時～PM4時 一日担当:10時～14時、12時～16時 TEL:0725-44-1555 FAX:0725-54-8016					

令和7年度(令和7年1月～令和7年7月)利用状況									
内容別利用数			属性別来訪者数(延べ人数)						
会議	面接	その他	保護司	保護観察官等	更生保護関連団体	行政職員等	学校関係	市民	
13	4	1	433	4	6	119	2	62	
【注】その他:資料作成、事務補佐 行政職員等:事務局員含む 市民:保護観察対象者、引受人等含む									

更生保護サポートセンター
運営報告

第75回「社会を明るくする運動」

街頭啓発活動



推進委員会



東ブロック



南ブロック



西ブロック



中ブロック



北ブロック

推進大会



更女の方々



BBSの方々



アカリイーネちゃん

管外研修会

日時 11月18日（火）
研修先 和衷会
住所 大阪市北区山崎町5-10

管外研修会については、今年度は日帰り管外研修会ということで、当初、計画では十月に予定しておりましたが、万博の関係でバスの手配が困難となり、日程調整で苦勞しましたが、何とか十一月十八日（火）に決まりました。

視察訪問先については、大阪保護観察所堺支部の大島主任官にお力添えいただき、大阪市北区にございます更生保護法人「和衷会」を見学させていただきました。

更生保護法人「和衷会」は、大正時代からある国内最大の更生保護施設です。

尚、昼食場所は武田尾温泉紅葉館別庭あざれにて、楽しんでいただきました存じます。

観光については、勝尾寺等を予定しておりますので、是非ご参加のほど宜しくお願い致します。（担当 中ブロック）

更生保護施設要覧



更生保護施設 和衷会